白山ふるさと文学賞

第十五回　白山市ジュニア文芸賞　受賞作品

【島清部門】

小学生３・４年　作文の部　最優秀賞

「平和ってあたり前？」

松任小学校四年　八田（はった）　岬（みさき）

わたしは夏休みに戦争と平和について考えてみました。どうしてかというと、夏休みが始まる前に、校長先生がわたしたちに戦争と平和についてのお話を聞かせてくれたからです。毎年、校長先生は夏休みが始まる前にはかならず戦争と平和について教えてくれます。そして、毎年聞かせてくれるお話の内ようもちがいます。いろんなお話を教えてもらううちに、わたしも自分で戦争と平和について知ってよく考えないといけないなと感じました。戦争と聞くとわたしは昔の話のイメージが強かったけど、さい近ではよく他の国の戦争のニュースもテレビで観ることがふえました。日本では今は戦争が起きていないけど、他の国では戦争のせいで、たくさんの人が悲しんでいるすがたを見て、いたくて悲しい思いをするのにどうして戦争をするの？とぎもんに思いました。

今年の校長先生のお話は、小学一年生の子が書いた平和についての本のことでした。校長先生はその本をわたしたちに読んで聞かせてくれました。わたしよりも小さな子がわたしよりも戦争についてよく知っていることにびっくりしました。

次に、広島県の小学校六年生の子のお話も聞かせてくれました。平和にするにはどうすればいいのかを広島のみんなに伝え、みんなで平和にするためにがんばっているそうです。みんなの前で伝えることはすごくきんちょうするだろうし、ちゃんと伝わっているのかなと心配になると思うけど、思いが伝わってみんなできょう力してがんばっていることもすてきだなと思いました。

八月にわたしはじっさいに戦争をけいけんした人に戦争のお話を聞くことができました。戦争が起こったとき、まわりはどこも火の海だったそうです。まだ小さかったこともあり、お母さんにおぶわれていました。そんな火の海でどうすることもできず、荷物も、本当に必要なものしか持てず、持っていけるものだけ。近くの川に飛びこむ人たちが大ぜいいたそうです。そんな中、お母さんは火の中に飛びこむことを決めにげましたが、飛びこんだ先はぼろぼろになった家だったので、きせき的に命は助かったそうです。水をもとめて近くの川に飛びこんだ人たちは、人で山づみになり、おぼれてしまった人もいたそうです。また、やけこげてしまった人、もうすでに死んでしまっている人で川はうまっていたそうです。川に飛びこむことをあのときお母さんがえらんでいれば、きっとみんな生きていなかったと話してくれました。わたしは、その話を聞いて、火の中に飛びこんだのはとてもゆうきがあるなと思いました。わたしだったら、火の中にとびこむとぜったい死んでしまうと思うので、川にとびこんでいたと思います。まわりが火でどうしようもないじょうきょうを想ぞうすると、こわくてたまらないし、もしかしたら川にも飛びこめず、動けないでいたかもしれません。

戦争が終わって、その近くで花火大会が行われるときは、その戦争をけいけんした人たちは花火をこわくて見ることができなかったとも聞きました。その川に花火がはんしゃして、戦争で川で死んでしまった人が見えてしまうらしいです。それを聞いて、花火を見れないほどこわかったというのが分かったし、ずっと戦争のことが頭にのこっているんだと思いました。とても心がいたくなりました。

わたしは声をかけてもらい、みんなの前で戦争のかみしばいを読みました。戦争が起きて食べるものがなくなり、さい後は栄養がとれなくて大事な弟が死んでしまったという悲しいお話でした。戦争でたたかいに行くと死んでしまうかもしれない。でも、たたかいに行かなくても食べるものもなく、生きることができなくて死んでしまうと分かりました。大人になりたくてもなることができなかった弟や、大人になったときの弟を見ることができなかった家族はとてもくやしい気持ちだと思います。わたしにも大事な弟がいるので想ぞうすると、なみだが止まらなくなりました。

今生きている日本人はもうほとんどの人が戦争をけいけんしてい

ません。他の国ではわたしよりも小さな子でも戦争をけいけんしています。その子たちはきっと戦争のおそろしさをよく理かいしていると思うし、ぜったいにこわくておびえていると思います。でも今の日本人はそんな戦争のこわさを知らないと思います。戦争はぜったいしてはいけないと思います。苦しんだり悲しんだりすることをしてよろこぶ人はいるのかなと思います。

わたしが今を平和にするためにできることは、戦争についていろんな話を聞いたり考えたりして、それをたくさんの人に伝えることだと思います。そして戦争のこわさや、命の大切さを知ってもらって、平和っていいよねと気づいてほしいです。人にやさしくすることも大切だと思いました。人にやさしくすると、けんかも少なくなって、戦争にもつながらないと思ったからです。ゆっくりねむれることや、ごはんをおなかいっぱい食べられること、友達と遊べることも、学校に行けることも全部あたり前じゃないんだと気づくことができました。今すぐ戦争がなくならないかもしれないけど、わたしにできることがいろんな人につながって、みんなが平和で楽しくすごせるといいなと思います。

